

丹波市農業委員会だより



3、4歳児で6月に「すくすく農園」に植えた芋つるが地域の方の大きな力を借りてこんなに大きくなりました。「うんとこしょ！どっこいしょ！」と元気なかけ声をかけて収穫。給食、おやつ作り、焼き芋大会など、秋の味覚をみんなで存分に味わいたと思います。
(関連写真は8ページに続く) 芦田保育園

- ◆安心安全地産地消コーナー「ふるさとのかたち」・・・・・・・・・・ 2P～3P
- ◆新規就農者座談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4P～5P
- ◆選挙人名簿告知・建議にかかる懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・ 6P
- ◆遊休農地パトロール・農地相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7P
- ◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8P

ふるさとのかたち

安心安全
地産地消
コーナー

柏原地域

地球環境改善に
貢献する農業

～遊休農地を利用して～

ウエダエコファーム代表 上田 勝正

40年間のサラリーマンを卒業し、好きな農業をするにあたり何か変わったことに挑戦したい気持ちが強くなりました。幸い会社時代の付き合いで屋上緑化の販売、施工に乗り出した会社の育苗部門を共同で研究し、その生産を引き受けることになったのが平成14年ですから8年になります。

同じ集落の3人に声をかけ、現在も4人でセダム類のメキシコ万年草を50cm四方のトレイで生産し、出荷しています。厚さ7cmのトレイをビルの屋上に並べることで、条件にもよりますが20%程度の省エネがはかれ、また植物自体がCO₂を吸



い、ヒートアイランド現象を和らげる効果があります。エコへの関心が高まり、県の条例でも推奨される需要は多いのですが、悩みは年々歳が増え（平均年齢63歳）体力がついていかどうかです。

当初、年間1か月だけこの仕事に充てるつもりでしたが、そうもいかない状態です。体力の続く限り、頑張っていきたいと思っています。

氷上地域

貸農園と椎茸栽培による
都市との交流

かどの交流広場推進委員会

委員長 山口 利和

私達の葛野報徳自治振興会は平成21年度の県民交流広場事業採択により、推進委員会（18名）を設置し交流施設「かどの郷」を拠点とした更なる都市と農村の交流を図るため、本年3月より地区内に高齢化や農業ばなれの遊休農地を有効活用させるのに、近隣農家のご理解とご協力をいただき、農業委員会の認可を得て58



区画を『かどのふれあい農園』として整備いたしました。また、椎茸栽培については植菌体験をしていただいたり、すでに植菌した原

木から「マイ椎茸」を育て安全安心な丹波の食を実感していただきます。農機具庫や着替え、休憩するコミュニティールームも同事業により整備し、利用者に活用していただいております。

そしてI・Uターンで京阪神から当地区でお住まいをされている方や葛野で生まれ育ち、現在京阪神でお住まいの方、21名に「かどの交流大使」を委嘱し、お知り合いの都市の方にPRし、利用者を募っております。（市内の方も利用できます）

尚、地区のイベント・名所旧跡等いろいろな情報を広く知っていただく為、ホームページを開設しました。
(<http://www.tanbakadono.jp>)又は、かどの郷で検索

＜利用料＞

◆貸農園

（二区画50㎡ 年間1万5千円）

◆椎茸栽培

（二本 7百円・1人5本以内）

◆お問合せ

かどの郷（八二一四二二四）

青垣地域

遠阪里山ふれあい

森づくり事業について

～山から里へ、遊休地の解消を目指して～

遠阪森づくり協議会会長 山中 利樹

私たち、遠阪森づくり協議会は遠阪地区4自治会や、地域づくり協力者で構成し、遠阪地区の地域づくりについて活動しています。



遠阪地区は丹波市の最北部に位置し、遠阪小学校では平成22年度から市内初の複式学級が導入されるなど、少子高齢化がすすんでいる地域です。そしてその影響などもあり、山林の荒廃や遊休農地の拡大がすすんでいます。

しかし、加古川の源流という豊かな自然環境や、魅力ある歴史、伝統文化がある地域でもあります。

その魅力ある資源を守るために、平成21年度より遠阪地区深山（みやま）の区有林の約32haを「遠阪アサヒの森」として毎年2回アサヒビール西宮工場にお手伝いをいただき、作業を通して都市と農村の交流をはかっています。昨年11月には山林の除伐、作業道整備を行い、2年目となる今年5月には社員とその家族にも参加を頂き、大人の皆さんは広葉樹の植栽、子供は蕎麦づくりと山についての勉強を通じて遠阪の魅力を実感して頂きました。山林作業の中で落差20mの滝にも感動されています。

今後は、山から里へと事業を拡大し、シイタケ栽培や遊休農地を利用した農作物づくり、農家と連携した農業体験を実施して、山林治水と農業に少しでも関心を持ってもらいたいと考えております。

春日地域

新米百姓参上!!!

春日町栢野 畑辺 哲

はじめまして！畑辺哲です。今年の春、つくばにある農業大学校を卒業し、ここ丹波の地にて新しい農業を展開しようと志してやってきました。可愛い嫁さんと才気溢れる息子（とはいってもまだ10ヶ月ですが）と、よれよれのジージと時々顔を出す口うるさいバーバの5人で来ました。

日本農業は今どこからみても厳しいです。農業が経済に果たしてきた役割も理解せず、まして日本の環境に農民が果たしてきた役割も評価されていません。専ら金銭でだけ測られている結果です。こんな狭い国土で森林を忘れ、過疎地を忘れて子や孫の世代に何が残せるのでしょうか。考えただけでゾッとします。

しかし、よくよく考えてみれば今が転機です。経済効率を相対化する地域共同体や環境の再構築は、今を



においては有り得ないと覚悟しています。能力も経験も少ないですが、「粉骨砕身」努力しようと思っ

美しき人間の共同体を作っていく一翼を担いたい。具体的には、①この地でしか作れない作物と農業形態（販売も含む）を模索すること②森林・山を含めた里山再生の道筋を作り、皆と一緒に子孫に誇れる大略地区にしていこう③栢野地区の生き物台帳を作ること、などを取り組んでいきます。どうかよろしくお願いします。

山南地域

「丹波漢方の里米の取り組み」について

和田営団水利組合長

藤原 勝

この地域は水のない牧山川に面する地域で、田畑は小石と砂の混じった流砂礫（りゅうしゃれき）で非常に水はけがよく、昔から葉草や若松、菊の産地として知られ、今なお栽培が続いています。

戦争中に日本農業開発営団によって桑畑を開墾して田地となり、65年を経過した今日、20町歩の田畑は地下水を利用し美味しいお米を収穫していますが、常に水不足に悩まされ「水回しさん」の力で水管理をしている状況です。

社会情勢の変化から農業離れも深刻な問題で、水のきれいな美味しい営団米をブランド化して売り出そうと、県のパワーアップ事業で「水と砂地の漢方の里米」と銘打って独自の米袋を作り、組合員が協力し合い地域のみなならず多くの人に味わって頂くよう取り組んでいます。



また、将来のために国の補助事業でパイプライン化に向けて計画推進中で、今後活気ある農業育成に向けて、和田営団水利組合もみ

んなで頑張る所存です。

市島地域

新規就農者になつて

市島町下竹田 小谷 泰久

私は、以前は長距離トラックの運転手をしており、四季折々、日本各地でいろいろな旬のものを食べてきました。中でも、山梨県のぶどうが印象的で、自分自身で美味しいぶどうを育てたいと思ったのが、農業を始めようと考えたきっかけです。



この市島町を選んだのは、ぶどうを育てるのに適した気候だったことに加え、有機の里ということで、農業を使わず身体に優しく美味し



大豊作の丹波松茸!! あなたの口に入ったかな?

い作物が作られているという点にひかれたからです。この地に来て一年半になりますが、ぶどうの他に、地元の方々に指導してもらいながら、野菜や米作りにも挑戦しています。慣れない作業で失敗もありますが、それを次に活かせるよう、精一杯努力している最中です。

「天候に左右される農業は、何年経っても毎年が一年生!」という先輩の言葉を忘れず、頑張りたいと思います。

現在は農業を取り巻く環境が厳しいですが、他の新規就農者の皆さんとも、なんとかこの市島町を盛り上げていこうと考えていますので、ご指導・応援をよろしくお願い致します。

農業委員会だより特集記事

新規就農者の方との座談会

丹波市で農業をしようと思った理由

会長 この度、農業委員会では毎年発行しております「農業委員会だより」の特集として新規就農者の方との座談会を計画いたしました。みなさまから農業に関する色々な話をきかせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

みなさんが丹波市へ来て農業を始めようと思ったきっかけは何ですか。川浦 14年程前に柏原の駅前を通る度に素敵な町やなと想って住みたいと思いました。ただその時の想いは自然体験塾をやるために住むことが目的で、それをできるのが広島県だったので、家族を連れて移住し、自然体験塾をやりましたが、両親が高齢化してきたこともあり、もう一度住みたかった丹波に家を探すことにしました。しかし何をして食べていいのかなと思った時、広島県に住んでいたころに植えたブルーベリーが、たまたま実がなつてとても美味しかったので、ブルーベリーを育てて売ろうと思いました。また、農業には定年



川浦 弘貴

(かわうら ひろよし)

市島町与戸在住 50歳

就農前の職業／医療法人勤務
就農希望の動機／田舎暮らしをしたこと
主な作付作物／ブルーベリー・ぶどう
就農年／平成20年



梅内 稔

(うめうち みのる)

市島町市島在住 37歳

就農前の職業／会社員
就農希望の動機／自分で野菜をつくりたい
主な作付作物／野菜(現在市島町与戸の農家で研修中)



秦 裕一郎

(はた ゆういちろう)

市島町下竹田在住 37歳

就農前の職業／会社員
就農希望の動機／麦のわらを使った家を作りたい
主な作付作物／野菜(現在いちじま丹波太郎で研修中)



濱野 邦興

(はまの くにゆき)

市島町下竹田在住 35歳

就農前の職業／会社員
就農希望の動機／農業は自分の思いをこめていくことのできる職業
主な作付作物／野菜(現在いちじま丹波太郎で研修中)



岩元 清志

(いわもと きよし)

市島町岩戸在住 31歳

就農前の職業／CADオペレーター
就農希望の動機／食の大切さを考えるようになったこと
主な作付作物／野菜
就農年／平成22年



足立 梅則

(あだち うめのり)

青垣町惣持在住 61歳

農業委員会会長

農業の楽しさ厳しさ

会長 実際農業をされてみて感じた楽しさと厳しさ(就農されて間もない方は想定する厳しさ)を教えてください。

岩元 やっぱり天候ですね。去年は雨が多くて涼しいと思ったら、今年は例年になく暑さで、有機野菜を作っていますが、よくできた野菜は他の農家の方もできていて、よくできた野菜は売れなくて、売れる野菜は少ししかできなくて、思った以上に天候に左右されると感じました。それと、一反もないような畑でも斜面が多くて草刈に時間を取られて効率的にできないことです。

川浦 会社勤め以上に頭を使うこと

者が多いので、困った時にも相談にのってもらえるし、有機農業をやっている人が多いことです。

と、膨大な知識と勉強を要すると感じました。知識が無いが故に、虫がついた時に慌てたり天候不良だった時に対処できないことが辛いし悔しい

これからの農業について

梅内 理想を言うと、収量より美味しさ求めていくことで評判になって、お客さんから足を運んで農地に来てもらえれば、営業もしなくていいし、品物を運ばなくてもいいのです。畑に居れる。どれだけ畑に居れるかで作物の良し悪しもある程度決まってくると思うので、営業で週2日畑を空けるよりは営業を減らしてでも、畑に居て作物を管理すればするほど、良い物ができると思う。特にこの辺の土自体が田んぼ土なので、畑土に変えるまでに時間をかけないと良い

濱野 僕は有機農業でも肥料を使わ

です。その反面、楽しさというのは、自分が育てたものが育っていくのは魅力。物を売って対価が得られるのも楽しいことだけど、自分が手をかけたものが育っているということが、確実に明日が見えているということが嬉しいし楽しい希望になる。それがあるからしんどくてもやめられないです。

が無いのと、農業は儲からないという人たちが農業を続けているのは何か魅力があるのではと思いました。

梅内 前から自分で野菜を作りたい、おいしい野菜を食べたいと思っていて、作った野菜を売って買った人が喜んでくれる職業は農業以外にないと思いました。

秦 美味しいものが食べたいと思ったことと、自然の力を借りて一から野菜等を作る（生産に携わる）ことに魅力を感じました。

濱野 会社勤めの時、転勤で色んな土地に住んだことで、自然の多い所に住みたいと思うようになり、自然の中で野菜を育てたいと思いました。
岩元 小さいころから住んでいた都会の暮らしに飽きたことと、いちじま丹波太郎のワ



農業委員会に期待すること

川浦 この間、農機具のレンタル始めましたというチラシを見て思いました。例えば、農業は辞めたけど農機具が家にありますとか、高齢で体は動かないけど農業の知識は持っているという人や人がたくさん居られると思う。そういう人や人のデータを集めて、新しく農業を始める方に紹介するシステムを作ってもらえると、知識は教えてもらえるし、機械は貸してもらえらるので、新しく農業を始める方はもつとやりやすくなると思います。

梅内 僕の場合は家です。家でも売りの家はあるけど、借りられる家が無いので公的機関に仲介役になってもらいたい。新規就農で来ても家を買うお金が無い人は、賃貸で考えざるを得ないので、借りられる家の情報や実際に借りる場合には公的機関が話し合いの場に入ってもらえれば助かります。

濱野 前から不思議だったのですが、市島町は有機の町としてPRしているのに町内に有機を専門に物を売っているところを知らない。観光客が来て有機の町だと思って何か買おうにも店が無いので、一つくらい店があってもいいんじゃないかなと思いました。

岩元 地元の人には良くしてもらっています。農業委員会さんとあまり話す機会が無いので、これから定期的にこのような会を計画していただいて、新規就農者がこういうことに困っているというのを聞いてもらって、農業委員会さんに反映してもらえればと思います。

会長 私自身も新規就農者の方と話をすることが少なく、どういふことをやらせていて、どういふことに困っておられるか話を聞かせていただいて、ありがたく思っています。市内でも、市島は特別多いですが、家を買われて今から農業をされる方の中にはおられますので、是非ネット

作物ができない。それと野菜作り以外にも色々な仕事があつて、特にこの時期は草刈を毎日1時間でもしておくと早く刈れて楽ができるけど、伸びた草を刈るには倍以上の時間がかかってしまうので、野菜作りとそれ以外の仕事とのバランスを考えて行こうと思います。

会長 農業は自分で作業等すべてを計画して、こなして行くという部分があるので、仕事を早い目にして仕事を追いかけていくのはすごく楽ですが、仕事に追いつけられないようになると悲劇です。先ほどの草刈の話のように短いうちに刈ることで、自分で計画して仕事を追いかけていけるので楽ですが、草が伸びているからと尻から追いかけると大変ですね。

秦 僕も草刈は大嫌いです。雑草が売れたら草刈も楽しいと思います。僕は家をわらで作りたくて農業に興味を持ち、実際にこちらに住んでみ

ず草を入れて田んぼの土壌を変えているところで、始めたばかりなので、今年は何も植えてない状態ですが、環境にやさしい野菜ができると信じてやっています。

川浦 これからは色んな知識を頭に入れてアイデアを出してやっていきたいと思うし、良い作物を作っても、その生産者がうまくコミュニケーションがとれなければ、なかなかその人に寄ってこないと思う。人は人にしか集まらないと思うので、色んな人と触れ合って自分を磨いて、都会まで商品を持って行ってなぜ売れるかと言うと、商品が良い物であるのはそうでしょうけど、その人（生産者）だと思っています。その人が買わせてくれる。その人を消費者が認めて買ってくれると思います。昔は良い物を作ったら売っていたかもしれないが、今は人（生産者）が見えていないと商品は買ってもらえないですね。

平成23年度は農業委員改選の年です

農業委員会委員選挙人名簿の登載申請について

まもなく皆様のお手元に農会長(各自治会の役員)を通じて「丹波市農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」が届けられます。これは、農業委員を選挙で選出するために毎年作成するよう法律で定められた書類です。

この申請書に基づいて作られる農業委員会委員選挙人名簿にのっていないと立候補、投票及びリコールの請求が出来ません。選挙権及び被選挙権を有する者の条件は、

- ① 丹波市内に住所を有すること。
- ② 年令が満20歳以上であること。
- ③ 田・畑併せて10アール(1反2歩)以上耕作している者及びその同居の親族又は配偶者で年間おおむね60日以上耕作に従事していること。

となっています。

申請書の記入事項はすべて平成23年1月1日現在の状況を記入して、平成23年1月5日までに農会長(各自治会の役員)にご提出ください。

詳しいことは農業委員会事務局へお問い合わせください。

建議にかかわる懇談会



丹波市農業委員会では、毎年、丹波市の農業振興施策に関する建議書を丹波市長に提出しております。

その建議書の項目のうち「学校給食を中心に据えた地産地消推進について」今年も丹波市に対して要望するべく、今回、学校給食運営協議会会長の西山武夫さんに丹波市の農産物がどのくらい学校給食に利用されているかなど現状についてお話を聞かせていただきました。

遊休農地パトロール を行いました



農業委員会では、8月～10月までを農地パトロール月間として設定し、農振農用地内の農地を中心に、耕作放棄になっている農地のパトロールを行いました。

近年、農業者の減少、高齢化の進行等により、遊休農地は年々増加しています。

農地は限りあるかけがえのない地域資源です。「荒らさずに耕作すること」が原則です。

農地が荒廃しますと雑木や雑草がはえて、害虫が発生し周囲に迷惑をかけ、不法投棄の場所になったり、火災の発生、隣接農地に鳥獣害の発生を招き、環境の悪化につながります。

国民への食料の安定供給等の観点から、遊休農地の解消は我が国の農政推進上、大きな課題となっています。

農地相談目のお知らせ

農地に関する相談をお受けします

地 域	12月	1月	2月	会 場
柏原地域	15(水)	13(木)	16(水)	生涯学習の森
氷上地域	14(火)	14(金)	15(火)	中央公民館
青垣地域	14(火)	14(金)	15(火)	青垣住民センター
春日地域	15(水)	13(木)	16(水)	春日庁舎
山南地域	13(月)	17(月)	14(月)	山南支所
市島地域	13(月)	17(月)	14(月)	市島支所

相談時間：青垣地域は午後 3:00 ～ 4:00

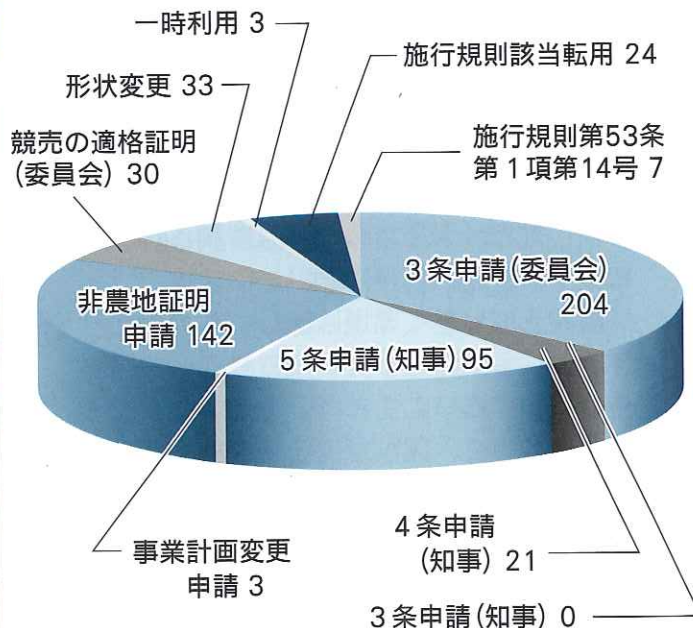
他の地域は午後 2:00 ～ 3:30

会 場：相談会場は当日、案内板等でご確認下さい。



平成21年度 許可申請実績

申 請 案 件	件数	面積 m ²
3条申請(委員会)	204	275,514.62
3条申請(知事)	0	0.00
4条申請(知事)	21	11,188.65
5条申請(知事)	95	67,164.37
事業計画変更申請	3	1,756.00
非農地証明申請	142	6,521.23
競売の適格証明(委員会)	30	42,072.00
形状変更	33	40,170.00
一時利用	3	1,561.00
施行規則該当転用	24	2,808.73
施行規則第53条第1項第14号	7	1,026.00
計	562	508,982.60





編集後記

今年の夏は観測史上稀にみる高温を記録する天候でした。

今年度より戸別所得補償制度が発足いたしましたが、米あまり現象は解決されず例年以上の米価の低迷が続いています。

農家を取り巻く環境は厳しいものがありますが、今回特集した新規就農者との座談会は「作物作りに生きがいを感じる」とありますように、農家が安全安心な食料生産に誇りをもち緑と国土保全に寄与したく思う昨今です。

たより編集委員会

全国農業新聞

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

経営とくらしに役立つ情報をお届けします！

★毎週金曜日発行

★購読料1ヶ月600円

お申込は農業委員会事務局へ
お問い合わせください。

国民年金に加入している農業者のみなさまへ

農業者のための

公的な積立年金

国が支える。安心が大きくなる。
担い手 積立年金
[要約]
農業者年金



しっかり積み立て！ 安心で豊かな老後を！ 家族みんながニコニコ笑顔！



編集委員メンバー